

STEP8 構造化抄録 (一部)

※ ご自身の RQ の構造化抄録【完全版】をご作成いただけます ※

構造化抄録



未完了 スキップ

【研究タイトル】 術前の不安が強いと、手術後の痛みは長引きやすいか？

【背景】

- 分かっていたこと
手術を予定している患者の多くは術後疼痛に対する不安を抱えている
- 分かっていたいなかったこと
術前の不安が術後疼痛に与える影響は確立されていない
- 研究で分かること
術前の不安の強さと術後疼痛の持続期間との関連

【目的】 全身麻酔を予定している患者における術前の不安の強さと術後疼痛の持続期間の関連を調べる

【PECO】

- P:対象者
全身麻酔の手術を予定しているの状態を持つ人
かつ20歳以上
ただし対象から除外しなければならないのは、
手術による改善(治癒)が見込めないの状態を持つ人
- セッティング:研究対象者を集める場所
単施設の病院の外科の入院病棟で行う。
- E(I):要因/介入
術前の不安が大きい
- C:比較対照
術前の不安が小さい
- O:アウトカム
術後疼痛が遷延(長期化)する

【型】 コホート研究 (分析的観察研究)

【方法】

- 測定方法
要因/介入は、
方法 = 不安尺度(STAIやMASなど)を用いた患者アンケート調査

